

令和9年度 三重県行政展開方針(案) 概要 令和8年10月2日 全員協議会資料

資料2-1

令和9年度行政展開方針(案)について

○ 令和8年版県政レポートに記載した残された課題や県議会からのご意見、社会経済情勢等をふまえ、令和9年度に注力する取組を三重県行政展開方針(案)として取りまとめ。

○ 「県民の命と尊厳を守る」と「未来を拓く」の視点による取組、車の両輪となる予算編成と条例の制定・改正による取組を進め、本県のさらなる発展につなげる。三重の未来を明るいものとするため、引き続き県民の皆さんの意見に耳を傾け、様々な主体と連携して、県政を展開。

○ 今後、予算議論を経て、さらなる肉付けを実施。

令和9年度の県政展開に向けた課題

○ 中東情勢の緊張が継続しており、エネルギー供給や物価高騰など県内経済や県民生活への影響が懸念。また、自然災害が激甚化・頻発化する中、南海トラフ地震や豪雨災害等に備え、対策の強化が必要。

○ 三重県産業の持続的な成長に向けて、国の地域未来戦略に沿った産業振興や観光振興・三重の魅力のプロモーション、公共交通・インフラ整備などによる強い三重県経済の構築が必要。

○ 子どもの健やかな成長を支える環境づくりや人権の尊重、外国人との共生、人口減少対策など、引き続き、県政の諸課題にももしっかり対応することが必要。

注力する取組(一部抜粋)

①安全・安心な暮らしの実現(P4)

①南海トラフ地震や豪雨災害等への対策の強化

● 「三重県南海トラフ地震対策推進条例(仮称)」をふまえた特化計画の策定

● 避難生活環境の改善に向けたガイドラインの策定

● 住宅耐震化の促進や河川・海岸堤防の耐震化の実施

● 地籍調査の重要性に関する県民向け周知の実施

②防犯等安全・安心の確保

● 「三重県カスターハラスメント防止条例」(案)をふまえた録音・録画機器への補助やアドバイザーの派遣

● 特殊詐欺被害の防止に向けた広報啓発の実施

● 「三重県自転車及び特定小型原動機付自転車の安全利用条例(仮称)」をふまえた周知・啓発の実施

● みえのクマ緊急対応チーム(M-BEST)を対象とした捕獲者の技術向上

③医療・介護提供体制の確保、健康づくり

● 地域の医療提供体制全体の課題解決を図る新たな地域医療構想の策定

● 三重県看護職員確保対策プランの策定に向けた調査・分析

● 新興感染症対応マニュアル(仮称)に基づく、感染症発生時の初動対応を想定した訓練の実施

● 分娩取扱医療機関への支援

● 令和9年度制定(予定):「三重県南海トラフ地震対策推進条例(仮称)」

● 令和9年度制定(予定):「三重県自転車及び特定小型原動機付自転車の安全利用条例(仮称)」

● 線状降水帯を想定した事前防災対応訓練の実施

● アンダーパスの冠水防止対策の強化

● 「流域治水プロジェクト」に基づく取組の推進

● 市町防災カルテの作成に向けた市町防災対策現況調査

②子どもの健やかな成長を支える環境づくり(P10)

①幼児教育・保育の充実

● 中高生を対象とした保育の仕事実践体験の実施

● 保育士が悩みや課題を相談できる体制の整備

● 地域限定保育士試験の実施

③児童虐待への対応強化・社会的養育の推進

● 北勢児童相談所・一時保護所、国児学園の建替え工事

● 社会的養護経験者等の自立を支援する拠点の運営

⑤学校における働き方改革と教員不足への対応

● 学校現場の働き方改革に精通した外部の有識者等の知見を活用した取組の実施

● 教職員の確保に向けた多様な層への教職の魅力発信等

②困難な状況にある子どもや家庭への支援

● ヤングケアラーやひとり親世帯への支援

● 「子ども・若者自殺対策協議会(仮称)」の設置促進

● 学校問題ADR(裁判外紛争解決手続)の運用・検証

● 心理専門家を加えたいじめ対策専門チームの設置

④子どもが豊かに育つ環境づくり

● 子ども食堂をはじめ、子どもの居場所を運営する団体への支援

● 企業と連携した子どもの居場所運営モデルの構築

⑥自分らしく生き抜いていく力の育成

● 自己肯定感の涵養に向けたモデル事業等の展開

● 小中学校段階からのSTEAM教育の推進

● 企業・大学と連携した高校生のキャリア教育推進

③人権の尊重・福祉の充実(P14)

①人権

● インターネット上の人権侵害の防止などに対する理解を促進するための啓発の実施

● 三重県人権センター常設展示室のリニューアルに向けた工事の実施

● 性犯罪被害者を対象とした見舞金による支援

②福祉

● 強度行動障がい状態にある児・者受け入れ体制整備の推進

● ひきこもり当事者のための交流支援

● 孤独・孤立対策の推進

● 令和9年度制定(予定):「部落差別解消条例(仮称)」

● 令和9年度改正(予定):「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」

①強い地域経済の実現に向けた産業振興(P18)

①地域未来戦略等に基づく成長産業の育成

● 次世代産業を支えるための半導体戦略の推進

● 自動車産業で培った要素技術やロボティクスを生かした次世代モビリティ産業の推進

● 素材・エネルギーの安定供給及び高付加価値の推進

● 国内随一の集積地の強みを生かした航空宇宙産業の推進

● 地域社会を支える食・ヘルスケア産業の推進

● 高付加価値旅行者に選ばれる上質な滞在環境整備の推進

● 次世代型スマート稲作農業の推進

● 養殖水産物の輸出拡大の推進

②スタートアップ、中小企業・小規模企業への支援

● スタートアップへの実証フィールドの提供等による支援

● 地域住民の生活に欠かせないエッセンシャルサービスの実態調査

● 県内中小企業の海外展開の促進

③農林水産業の振興

● 農業参入をめざす企業等を対象とした農地の確保支援

● 稲作や園芸など本県農業の持続的な発展に向けた懇話会の開催

● 漁協経営戦略の策定支援

● スマート林業の普及展開

● 令和9年度制定(予定):「森林由来J-クレジットの推進に関する条例(仮称)」

● 改正検討:「三重県中小企業・小規模企業振興条例」

③公共交通・インフラの整備(P26)

①公共交通の確保・充実

● 移動手段確保や自動運転導入等「交通空白」解消に取り組む市町の支援

● 移動需要や旅客運送サービス供給力の長期的将来推計、輸送資源の実態調査の実施

● 公共ライドシェアの普及促進

● 外国人を含めたバス運転士の確保・育成サイクルの構築

②産業等を支えるインフラの整備

● リニア中央新幹線の早期全線開業に向けた取組の推進

● リニア三重県駅を核とした交通ネットワークの形成に向けた検討(リニア三重県駅とつながる道路ネットワークの整備等)

● 高規格道路及び直轄国道の整備促進、県管理道路の整備推進

● インフラを支える人材の育成・確保

②観光振興と三重の魅力のプロモーション(P22)

①「みえインバウンド誘客計画」に基づく戦略的な観光誘客

● 重点市場における現地旅行会社へのセールスやファミトリップに加え、各市場に合わせた戦略的な取組の実施

②持続可能な観光地づくり

● 観光施設や宿泊施設の改修・整備支援

● 観光データマーケティングの推進

③熊野古道を生かした誘客や式年遷宮を見据えた取組

● 熊野古道センターの常設展示リニューアルとオープニングセレモニー等の実施

● 第63回神宮式年遷宮を契機とした観光誘客、周遊・滞在の促進

④多様な主体と連携したプロモーション

● 「美し国みえ」を掲げたプロモーションの展開

● みえ応援ポケモン「ミジュマル」等を活用したプロモーション推進

④住みやすさ・にぎわいの創出(P28)

①文化振興

● 子どもが文化にふれ親しむ機会の提供

● 史跡斎宮跡の計画的な整備の推進

②スポーツの推進

● 県内のプロ・トップチームのあり方の検討

● 県営スポーツ施設の整備・改修

③環境

● 四日市公害の経験をふまえた環境対策の継承

● 次世代型太陽電池(ペロブスカイト等)などの県有施設への積極的な導入

● 地域と共生した太陽光発電の適正導入に向けた検討

④平和

● 高校生など若い世代が主体となった平和啓発コンテンツを作成・発信するプロジェクトの実施

⑤行政サービスのDXの推進

● デジタル専門人材で構成される「DXタスクフォース」の市町への派遣による支援

⑤実効性のある人口減少対策の推進(P31)

①希望がかない、安心して子どもを産み育てることができる環境整備

● 「みえ子ども・子育て応援総合補助金」を活用した市町への支援

● マッチングシステム「みえむすび」の認知拡大による出会い支援の強化

②人口還流の促進

● 移住における就業支援を強化(移住フェアにおける企業との連携)

● 南部地域に暮らす子どもたちに地域の魅力を伝える郷土教育の機会を拡充

● 令和9年度制定(予定):「ジェンダーギャップの解消に向けた条例(仮称)」

⑥人材確保(P35)

①成長産業や社会基盤を支える人材の育成

● ネクストハイスクール構想をふまえた、半導体などの成長産業や地域産業を担う人材の育成

②業種ごとの人材確保対策

● 看護職員修学資金のリニューアル

● ドライバーバンクの創設

③多様な人材の就労支援

● 女性の県内就労の促進

④外国人労働者の受入環境整備

● MOU締結国(ベトナム、インドネシア)での現地合同面接会等の実施

(1) 県民の命と尊厳を守る

(2) 未来を拓く